

災害に備えた地域での支え合い研修会 ～障がいのある方などの避難支援を考えよう～

1 目的

災害に備えた地域での支え合いのうち、特に障がいのある方の避難支援に関する理解を深め、参考となる町内会・自治会等の取組を多くの方々に知ってもらうとともに、平成 28 年度より開始した「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」について広く周知すること

2 主催

- ・札幌市
- ・さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」実施事業者）

3 対象者

要配慮者避難支援や地域防災・見守り活動に取り組んでいる又は取り組む予定の町内会・自治会、地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）等の関係者、民生委員・児童委員、福祉事業者、福祉関係団体、避難支援に興味のある市民等

4 開催日 平成 29 年（2017 年）10 月 4 日（水）
13 時 00 分から 15 時 30 分まで

5 開催場所 わくわくホリデーホール（札幌市民ホール）大ホール
（中央区北 1 条西 1 丁目）

6 定員 1,100 名

7 内容

12:30 開場

13:00～13:10 開会・あいさつ

13:10～14:05 基調講演 「命の大切さを語りつなく」

～北海道南西沖地震の津波体験から～

講師 命の大切さを語りつなく 代表 三浦 浩 様

14:05～14:10 休憩

14:10～14:40 行政説明

- ・ 「避難行動要支援者名簿情報提供について」（保健福祉局総務部）
- ・ 「福祉避難場所について」「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート業務について」（保健福祉局障がい保健福祉部）

14:40～15:25 事例報告 「札幌市内等における取組事例から」

- ・ 札幌市内の町内会・自治会、福祉事業者による事例報告

15:25～15:30 まとめ・閉会

→ 裏面に続きます。

8 その他

(1) 申込方法・締切日

- * 別紙「参加申込書」にて札幌市保健福祉局障がい福祉課までファクシミリまたは電子メールにてお申し込み下さい。
- * 締切日は平成 29 年（2017 年）9 月 22 日（金）です。

(2) 参加費 無料

(3) 問い合わせ先

【研修全般に関すること・申込先】

- ・札幌市保健福祉局障がい福祉課（担当：加藤・石田）
電話：011-211-2936 ファクシミリ：011-218-5181
電子メール：syurou-soudan@city.sapporo.jp

【誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業に関すること】

- ・さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（担当：大久保・佐藤）
電話：011-213-0171 ファクシミリ：011-213-0172
電子メール：sapporo@one-all.net

※三浦 浩氏

- 「命の大切さを語りつなぐ」（栗山町）代表
- 社会福祉法人栗山ゆりの会 グループホーム拓心荘 生活支援員
- 栗山町生活支援体制整備事業協議体 委員
- 防災介助士
- 地域防災マスター

1977（昭和 52）年、青森県生まれ。3 歳の頃から奥尻島在住。道立奥尻高等学校を卒業後、1998 年より奥尻消防署消防士。2017 年 3 月より現職。

5 歳の時に日本海中部地震（1983 年）、15 歳の時に北海道南西沖地震（1993 年）による津波で被災。消防士として働く傍ら、2004 年のインドネシアのスマトラ島沖地震をきっかけに体験を基に語りべ活動を開始。2011 年の東日本大震災を受けて結成された奥尻島津波語りべ隊の一員に。2012 年夏に被災体験を題材にした自作の紙芝居を完成、北海道の小中学校や東北の被災地などで披露。語りべ活動に専念するため 18 年務めた消防士を退職して 2016 年 4 月に北海道栗山町に「命の大切さを語りつなぐ」設立。